

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	児童発達支援センターわくわくキッズ			
○保護者評価実施期間	令和7年1月5日 ～ 令和7年2月14日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	87家族	(回答者数)	56家族
○従業者評価実施期間	令和7年2月1日 ～ 令和7年2月14日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	16人	(回答者数)	16人
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	専門性の高い支援	○職員の研修参加（発達特性の理解、PECS、ソーシャルストーリーズ®、コミック会話、感覚統合、など） ○支援についての振り返り、取り組み内容の共有、ケース検討などを日々の中で行っている。	○人材育成 ○内部研修の実施（知識や実践の共有） ○保護者との連携と共有
2	家族に対しての支援と学びの提供	○保護者学習会の開催 ○ペアレント・プログラムの開催 ○おしゃべりサロンの開催	○保護者同士が関われる場の提供 ○日々の支援の中での申し送り（支援方法の共有等）
3	子どもが安心感を持って通える場所	○お子さんが理解しやすい環境や支援の提供 ○「いつ」「どこで」「なにを」「どうなったらおわり」「つぎは」をひとりひとりの理解の仕方に合わせて提示	○おこさんひとりひとりの学習スタイル（どうすれば「わかった!」「できた!」につながるのか）をアセスメントする

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域との交流	○並行通園しているお子さんたちが殆どで、通っている園での行事等で地域の方や他のこどもたちと関わる機会が多い	法人で実施する行事等の周知及び周知方法の検討を実施していく
2	父母の会、保護者会等の開催およびきょうだい同士の交流	父母の会や保護者会の組織は無いが、保護者同士が交流できるよう保護者ルームの開放をしているが、コロナ禍以降保護者ルームの利用を控えている方が多い	保護者ルームの利用を促していくための周知を行っていく
3	各マニュアルの周知、説明	各マニュアルは自由に閲覧できるようにしてあるが、場所等の周知ができていない	各マニュアルが保管されている場所の周知を行っていく